

4月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 平成30年4月13日（金）

2、閉会年月日 平成30年4月13日（金）

3、出席委員氏名

前川 喜太郎 田中 久善 西畑 敦司

名倉 幸子

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 仲 谷 俊 充

市 長 公 室 長 岡 本 匡 史

事 務 局 次 長 木 村 昌 訓

教 育 総 務 課 長 西 岡 昭 人

ま な び 推 進 課 長 高 山 仁

ま な び 推 進 課 付 課 長 山 村 結 紀 子

文 化 財 課 長 赤 埴 陽 一

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長 西 田 智 也

図 書 館 長 森 田 三 喜 子

市 民 協 働 推 進 課 長 石 原 康 司

市 民 協 働 推 進 課 長 補 佐 長 岡 律 子

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 土 田 裕 彦

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 教育長職務代理の指名について

日程第3 議題 なし

日程第4 報告 平成29年度末教職員人事異動について
平成30年度幼稚園、小中学校教育推進計
画について

6、会議の経過議題

開会 午後 2時00分

閉会 午後 2時41分

1 教育長

皆さん、こんにちは。

ただいまから4月の定例教育委員会のほうを開かせていただきます。

本日の署名委員は、前川委員と田中委員にお願いいたします。

議事日程に入る前に、人事異動で教育委員会事務局に転入した職員の紹介をさせていただきます。

まず、木村昌訓 事務局次長でございます。

1 事務局次長

木村でございます。委員の皆さま方には以前よりお世話になっております。今回より教育委員会の次長に配属となりましたので、改めまして今後ともよろしくお願いをいたします。

1 教育長

続きまして、高山仁 まなび推進課長です。

1 まなび推進課長

高山でございます。西中学校を最後に38年間の教員生活を終了させていただいて、続いてまなび推進課の課長ということでお世話になることになりました。よろしくお願いいたします。

1 教育長

続きまして、山村結紀子 まなび推進課付課長です。

1 まなび推進課付課長

山村です。よろしくお願いします。

1 教育長

続いて、赤埴陽一 文化財課長です。

1 文化財課長

赤埴でございます。4月1日付で文化振興課より文化財課のほうに異動になりました。どうぞよろしく申し上げます。

1 教育長

森田三喜子 図書館長です。

1 図書館長

森田でございます。4月1日付で学校教育課のほうから図書館のほうに異動となりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

1 教育長

また、今年度から生涯学習及び公民館の管理に関する事務を、市長部局へ事務委任するため、本日は岡本匡史 市長公室長と、市民協働推進課の石原康司課長が出席しております。お願いします。

1 市長公室長

岡本です。教育委員会ではいろいろお世話になりありがとうございました。引き続き、市長公室に異動いたしました。公室のほうで事務執行委任ということでさせていただきますので、引き続き、よろしくお願ひいたします。

1 市民協働推進課長

石原でございます。公民館の担当をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

1 教育長

なお、岡本公室長と石原課長は、この後すぐ区長会の理事会がありますので、ここで退席し、長岡課長補佐が代理出席いたします。

それでは日程第1、私の報告ということになります。

4月最初の定例教育委員会ですが、私のほうも2期目となりますので、引き続きの御指導御鞭撻をよろしくお願いいたします。

また、4月からは機構改革で、学校教育課がまなび推進課ということになっております。学務係、指導係、そして地域学習係の3課になりますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

私の方も2期目となりますので、以前から言っております教育目標は、「社会に貢献する人づくり」ということ。以前とそれは変わりはありません。生活習慣、よりよい学習習慣、そして自己肯定感を高めるということで先生方とともに、学力向上、体力向上に3年間取り組んでまいりました。学力向上のほうは以前も話させていただいたように、大阪大学の志水先生が提唱されておられる学力の樹の根っこの部分というものが、生活習慣、学習習慣、自尊感情、目的意識となっておりますので、それをしっかり根っこの部分を育てていきたいと考えております。そういうものを、さらに持続可能にしていきたいと思ひますので、その学力向上、体力向上のベースとなるものとして、社会力というものを育てていきたいと考えております。

社会力というのは、社会教育学をされておられる方の概念の1つなんですが、「人が人をつなぎ、社会をつくる力」というものを定義されておられます。「人が人をつなぎ、社会をつくる力」というものは、さまざまな人たちがいい人間関係・環境をつくって、そのつくったいい関係を維持して、自分が身に着けた知識とか技術とか技能とかを社会のいたるところで、人のため、誰かのために何か役立てようという、自分から進んで発揮して活用していこうという資質能力を指しておられるようです。

先ほど言いましたように、つながるっていうことをキーワードに大事にして、つながりを大事にしていきたいと思います。社会力が育てていけば、学力向上にもつながるといふふうに言われておりますので、社会力という言葉、社会力をベースにして、1期目も取り組んでまいりました学力・体力のほうを育てていきたいと思っております。

社会力を育てるために、子どもたちのコミュニケーション力をさらにつけたい。そして、今以上に学校での話し合い活動、係活動を充実させていきたいと考えております。

子どもたちの社会力を育てるには、学校だけでは限界があると思います。子どもたちの言動に対して、大人たちははぐらかすことなく、適当に対応するのではなく、しっかりと責任を持って、真剣に対応していかなければならないと思います。子どもたちがいろんな人と多様な交流をする必要があると考えています。子どものための地域づくり、地域の子どもたちができるだけ多くの大人たちと交流できるように、地域を変えていく必要があると思いますので、そのためにコミュニティスクールの導入を目指してまいりますので、協力のほうをよろしくをお願いをしたいと思います。

会議の冒頭に当たって、考えを少し述べさせてもらいました。

3月の行事に関しましては、3日の日に市町村対抗子ども駅伝に応援に行かせてもらいまして、天理市は全市町村中6位ということで、かなりしっかり頑張っていただいて。1位が河合町で、後は12市の中では5位という成績でした。区間で3位まで入った選手もおられたということを報告しておきます。

今、話したことについて、何かご質問ございますでしょうか。

では、次いかせていただきます。

日程第2、教育長職務代理の指名について説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第13条第2項に、「教育長に事故あるとき、または教育長が欠けたときは、教育長が指名する委員がその職務を行う」と明記されております。現在は、名倉教育委員が職務代理者となっていていただいておりますが、年度がわりになりますので、前川委員に職務代理者をお願いしたいと思っております。委員の皆さま、よろしいでしょうか。

(「結構です」の声あり)

ということで、同意を得ましたので、前川委員よろしく願いいたします。

1 前川委員

はい、よろしく願いいたします。

1 教育長

日程第3、議題は本日はございません。

日程第4、報告に移ります。

3月市議会の報告については、事前に資料を送付いたしておりますので、読み上げは省略させていただき、教育委員さんからの質疑を受けたいと思っております。

何かご質問ございますか。

はい、どうぞ。

1 西畑委員

6ページの生涯教育やリカレント教育ということで、教育長の答弁が書かれています。この中で、「新技術の普及により消滅していく職

業もあれば」ということを、いろいろ7ページにわたってですね。今度、女性のためにスキルアップ訓練ということで3D CADの研修をされているというところなのですが、実際に今、例えばお母さん方とかが子育てで一段落して、また再就職をしたいといったときに、事務職になろうとすると、そこまでパソコンを使っていなかったのも、パソコンが使えない、というふうなお話もよく聞きます。なので、3D CATみたいな本当に手に職のつくようなものっていうのも、もちろんそれは意味のあることだと思うんですが、普通に事務職として働いてるExcelであるとかWordであるとか、そういうものを教えてあげるだけでも、大分効果はあるんじゃないかなというふうに思いますので、そちらのほう検討していただけたらなと思います。

1 教育長

もちろん検討はさせていただきますけども、ここ中身は産業振興館で3D CADをやっているのは、直接は教育委員会ではなくて産業振興課ですから。

1 まなび推進課付課長

産業振興館ということですか。

1 教育長

館ではなくて、担当課。

1 まなび推進課付課長

産業振興課ですね。

1 教育長

課ですね。産業振興課。Excelとかコンピューターの講座というのは、一般の人の易しいコンピューター講座っていうのは、どうい

う方が対象でしたっけ。やっておられるのは。市民病院でやっではる
のは。

1 西畑委員

最初にされてるのは、そんなに限定はされていないようなんですが、
実際来られる方がどんな方かって言うと、やっぱり、一度リタイアさ
れて。

1 教育長

お年寄りですか。

1 西畑委員

まあまあ。お年召した方が実際には多いので、若い女性とかもっと
参加していただけるようなことができたらなあというふうに思います。

1 教育長

ほか、ございますか。

1 前川委員

質問ではないんですけども、今年度の小学校の空調の機器が整備さ
れるということで、大変喜ばせていただいております。7月に、毎年
学校訪問行かしていただいて、授業を見させていただくこともあった
んですが、本当に暑い中、先生方も汗を拭きながら授業されてる。そ
の中で教育環境としては、これはあまりにも気の毒だなというのは
前々から思っております。いろんな場でも意見を出したことはあっ
たんですけども、やっとそれが今年度空調が入るということで喜ば
しく思っておりますが、これが9月からになるんですね。

1 事務局長

はい。

1 前川委員

夏休みに工事をされて、9月なんで、それは休みのときにしようという。

1 事務局長

台数も多くなりますので。

1 前川委員

それはもういたし方ない部分ですね。せっかく入れるのであれば、とは思うんですけど。全般的には、そうやって入れていただけるっていうことはありがたいことだと思います。

1 教育長

今年度は予算の都合上、3月工事っていうのはちょっと厳しいから、9月に使用開始になります。

はい、名倉委員。

1 名倉委員

8ページの英語教育の導入なんですけれども、今年度から移行措置として、一応目標の50時間と15時間程度。いきなり、今年度からそういう時間を取られるっていうことではなくて、移行措置の、今年度と来年度の間で時間を決めていくということですかね。

1 教育長

一応、50時間のほうは確保できまして、モジュールというものを使ってということで。ただ、そのモジュールのほうが認められるかどうかというので、いろんな意見を、意見というか考えとかも出てきてますので、指導も出てきてますので。どうなるかわからないですけども、15分であればとか20分であればね、そのフルに15分使

えるのかという指摘もあるようなので、小学生の英語で20分のほうもいい方法かなとは思ったりもするんですけども。県、国の指導もありますので。一応、今年度がモジュールのほうでやってる学校も出ています。

1 名倉委員

いきなり導入の仕方が唐突だと、子どもたちも少し入りにくいかなと思うので。

それとあと、ネイティブの先生とかは、今まで回っておられた先生は。

1 教育長

登録3人です。

1 名倉委員

3人ですか。

1 教育長

小学校は2人って言っていいんでしょうかね。福住小中学校にラビさん。小学校にマリサ。中学校にタヒーラ。

1 名倉委員

またネイティブの先生をもっとふやす、というお考えとかもありますでしょうか。

1 教育長

今のところは3人で。

1 名倉委員

3人で。

1 教育長

頑張ってもらおうと思っております。

1 名倉委員

まず基礎が大事ですので、取りかかりを固めてから、ネイティブの先生に広げてもらうっていうやり方もあると思いますので。

1 教育長

あと、天理大学の連携で、アシスト事業の人で、天理大学の学生さんに協力をしていただければと声かけに行かせていただきました。

1 名倉委員

わかりました。

1 教育長

あとは地域の方で、英語が堪能な方がおられて、行ってあげようという方がおられたらということで探してもらおうと。それは教育現場に行くってことなのでね、いろんな検討はする必要があると思いますけど。

1 名倉委員

そうですね、資格などの検討も要りますし。

英語教育に関しては、大いに注目と期待しているところです。

1 教育長

指導案のほうは用意していただいたので、比較的スムーズに授業のほうに入れるかとは思っております。

1 名倉委員

わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

ほかによろしいでしょうか。

この定例会の報告については、以上にさせていただきます、次に、平成29年度末の教職員の人事異動について、まなび推進課のほうからお願いします。

1 まなび推進課長

平成29年度末教職員人事異動について報告をさせていただきます。

県教育委員会から出されました、教職員人事方針に沿ってご報告させていただきます。

まず1番目、1つ目としましては、年齢、性別、教科、勤務年数等を考慮した、適材適所への配置について、司書教諭資格者の選考配置、男女比の改善、年齢にも考慮して実施いたしましたが、全体的に中堅者、ミドルリーダーの人材不足が見られるようです。

2点目といたしまして、同一校の長期勤務者の解消においてですが、平成30年3月31日現在、天理市においては小学校で7名、中学校で6名の10年以上の長期勤務者がおりましたが、今回の異動により、小学校で5名、中学校で4名の解消を図ることができました。また、新規採用4年以上の勤務者につきましては、再配置という県教委の方針により、小学校で14名、中学校で4名の他郡市への再配置が行われました。

3点目です。女性管理職の配置につきましては、今年度は校長2名、教頭4名の計6名でございます。

続いて4点目としまして、人権教育、特別支援教育の充実と進展につきましては、昨年同様、県からの児童生徒支援加配の6名を市内のほうに配置。また、市単費講師・人権推進教員10名を市内8校に配置したのと、特別支援教育支援員を市内11校に配置いたしております。

す。幼児・児童・生徒指導の充実強化につきましては、福住小学校の複式学級解消のための単年度市単講師1名の配置、並びに県から少人数指導加配として、市内に24名配置して、学校教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

今年の特徴といたしましては、中学校で教科で免許外、臨時免許対象というのが臨免が解消されまして、福住中学校で今まで複数教科を担当していたものがいたわけですが、臨時講師を配置していただいて、臨免の解消がなったというわけでございます。

以上でございます。

1 教育長

報告にありましたが、今までの福住中学で臨免で技術をもっていただいたいのものが、非常勤で来ていただくことになって、専門の先生が教えることになりました。少人数加配も例年通りということですね。

1 まなび推進課長

少人数加配は24名で、昨年度よりも2名増です。

1 教育長

そうですか。

1 まなび推進課長

はい。

1 教育長

よろしいですか。何かありますか。

1 田中委員

人事については、1つは10年の枠っていうのがあるんですけども、学校の現状実態に応じて人事されたのだろうと思っています。少

なくとも、学校にとって主力となる先生を現場に合わせて人事をしていかなければならないと思っておりますので。そういう意味では、今回人事そういうことも配慮されたのかなと思っております。少人数にいたしましても、単純に少人数だけで子どもがきちっと学べるのかな、ひょっとすると正規の学級のほうが多くの人間関係の中で学べていく。もっと言えば、教育長がおっしゃっていただいている「人と人とのつながり」から言えば、別に少人数にこだわらなくてもいい時代ではないかなと、こんなことも思っておりますので。より優れた人材を確保し、同時に、また新たな教育も含めてお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

1 教育長

はい、ありがとうございます。

続きましても、まなび推進課の報告。平成30年度の幼稚園、小中学校教育推進計画について、課長お願いします。

1 まなび推進課長

まず、幼稚園の教育推進計画から報告させていただきます。

お手元のほうにあります、まず1ページでございます。

幼稚園のほうからさせていただきます。幼稚園につきましては、平成30年、今年度に教育指導要領が施行されました。それに伴いまして、基本方針といたしまして、①、②、③を挙げさせていただきました。それに基づいて、幼稚園の教育を進めていっていただきたいと。特に1番目、幼稚園教育において育みたい資質・能力の明確化。2つ目といたしまして、小学校教育との円滑な接続（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の明確化）。3つ目といたしまして、現代的な

諸課題を踏まえた教育内容の見直し（預かり保育や子育て支援の充実）ということでもさせていただきました。

続きまして、3 ページでございます。

3 ページのところの研究・研修の推進の（2）天理市幼稚園教育全体研修会ということで、「幼稚園教育理解推進事業」において提示される協議主題に基づき、その理解と保育の具現化について、天理市全体での研修及びブロック別研修を通して保育実践の深化を図る。ということで、天理市全体ってということとブロックというところを強調させていただきました。

続きまして4 ページのところの、3 幼稚園教育の理解を深める情報発信の推進というところで、（1）「天理市立幼稚園・こども園展」、市内公立幼稚園・こども園の活動の様子を写真や作品で展示し、幼稚園教育内容の理解を深める、ということも挙げさせていただきました。それと（2）広報活動の推進で、ホームページでの情報発信、遅かったと思うんですけども入れさせていただきました。幼稚園は大きな変化はそんなところでございます。

続きまして、小・中学校教育推進計画のほうでございます。

小学校の推進計画につきましては、小学校は32年から、中学校は33年から、次期学習指導要領の全面実施ということになります。しかし、それまでの現在行われている基本方針を縮小させていってまして、1番、2番、①、②、③、④は今までの現行の指導要領の方針でございます。それにプラス、30年度は新学習指導要領移行期間であり、ということを入れさせていただいて、（1）「何ができるようになるか」を明確化。（2）我が国の教育実践の蓄積に基づく授業改善。

(3) 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立ということで、(1)、(2)、(3)を入れさせていただきました。この(2)で言ってます、「主体的・対話的で深い学び」、これはキーワードになるのではないかなというふうに思われます。

続きまして2ページ目でございます。

2ページ目の8行目でございます。近年、社会環境の変化に伴い、子どもの生活習慣の乱れが、ということで、昨年度はここに食育の部分を強調して回答したんですが、食育も大事でございますが、まずは生活習慣の乱れがやっぱり食育の乱れになるであろうということで、生活習慣ということで強調させていただきました。心身の健康や学力等に大きな影響を与えています。このような学習の改善を目指し、学校ではさまざまな課題を踏まえ、生活習慣や学習習慣の確立と、健康・安全・食に関する知識に基づく健康的な生活の実践する力の育成に努めなければなりません、ということで強調させていただきました。

続いて、3ページ目。2 研究・研修の推進というところで、(1)「わかる授業」「児童生徒の主体的・対話的な学び」、対話的を挿入させていただきました。(2)生徒指導の推進研究のところの、自尊感情の向上、不登校の解消や未然防止のための対応及び研修、を入れさせていただきました。それと(6)今日的課題への対応というところに、外国語活動を入れさせていただきました。それと、下から10行目ですけども、いじめの防止対策については、ということで、昨年度できました「天理市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、というのを入れさせていただきました。

推進計画のほうは、以上でございます。

1 教育長

推進計画のほうの説明いただきましたが、何かご質問ございますか。

1 西畑委員

幼稚園の、3 情報発信の推進というところの部分。これ「天理市立幼稚園・こども園展」というのは、去年までは幼稚園展、こども園は入ってなかったと。

1 まなび推進課長

そうでございます。

1 西畑委員

大体、この幼稚園展って開かれていますけど、来場者数はどれぐらいあるんでしょうか。

1 まなび推進課長

正確な数はつかんでおりませんが、かなり保護者の方プラス祖母、祖父が来られますので、かなりの人数は来られるっていうふうに思っております。

1 西畑委員

来ていただいて、中身見ていただいてということになるんですけど、どれぐらいの幼稚園教育の内容の理解って深まっているかなという、検証じゃないですけど、そういうこと何か検証されるような仕組みはありますか。

1 まなび推進課長

非常に痛いところなんですけれども、市民の方、また未就園の方が、これを見て、「幼稚園いいな、幼稚園行ってみたいな」というふうになるのが目的なのでございますが、まだそこまでつかみきれておりま

せん。

1 西畑委員

いつも言う話なんですけど、やったやったでとまっているのではなくて、何か効果が出てるかというようなことも、効果の測定というのは、何か方針があればなと思います。特に、ここでも総合教育会議の中でもお話もするんですけども。効果測定しにくいものであると思うんですけども、何かこうやったということに対して、これぐらいやった効果があった、意味のある活動であるということをも裏打ちというのが欲しいなというふうに思うので、何かちょっと検討していただければなと思います。

1 まなび推進課長

はい、わかりました。

1 教育長

名倉委員。

1 名倉委員

幼稚園のほうで、3ページの1番上の(2)天理市幼稚園教育全体研修会は赤で書いておられるんですが、今まで研修会についての文言ってなかったんですか。

1 まなび推進課長

全体での教育課程の研修会とかあったわけですけども、それを文字にさせていただいたと。

1 名倉委員

文字としては、今までなかったということで。

1 まなび推進課長

なかった、はい。

1 名倉委員

そうなんですね。

1 まなび推進課長

はい。

1 名倉委員

研修も数々されていたと思います。全体と、あとブロック別研修っていうのも全く今まで文言が入ってないっていうのが、ちょっと驚いてます。

1 まなび推進課長

申し訳ございません。

1 名倉委員

いえいえ、わかりました。

1 まなび推進課長

実際、それぞれやっております。

1 名倉委員

ブロック別研修っていうのは、具体的にどういうその地域ごとですか。

1 まなび推進課長

そうです、地域ごとです。

1 名倉委員

地域ごとの幼稚園でブロック別にされてるんですか。

1 まなび推進課長

中学校単位の。

1 名倉委員

ですね。はい。わかりました。

1 前川委員

よろしいですか。幼稚園のほうですけども、1 ページ目の基本方針の中にあります、③の部分ですね。カッコで預かり保育や子育て支援の充実っていうことを謳ってくださってるんですが、これは充実ということですから、予算も必要なことでしょうけれども。今後、やはり長時間で預かるであるとか、そういったこともどんどんふやして、充実していこうという意味で理解してよろしいでしょうか。

1 まなび推進課長

今年も1園、長時間預かりをふやすという計画で進んでいくと思います。さまざまな条件まだあるかなと思うんですけども、保護者の方々はどこで車を回転させていかなければいけないのかというような部分も出てきますし、あと、長時間預かりのときのふさわしいような環境づくり、そこも含めて整理ができたところから始めていこうというふうな形で進めております。

1 前川委員

最終的な目標は、全園ということによろしいですか。

1 教育長

まずは、今年に前栽幼稚園で長時間預かりをして。

1 前川委員

わかりました。

それともう1点、最後の4ページのホームページでの情報発信はすごく大事なことやと思うんです、情報発信っていうのは。私もたまに

幼稚園のホームページ見るんですけども、ほとんど更新がないです。

1 まなび推進課長

幼稚園独自でホームページの更新ができないというのは、僕が知っている限りですが、まだ4年の間にかわったかもしれませんが、小学校・中学校は学校の独自でホームページが更新できるんですけども、幼稚園の場合はそれがまだ整ってありませんので。

1 前川委員

園独自ではできないんですね。

1 まなび推進課長

ですから、市役所のほうへ持ってきて、まなび推進課のほうで、それをまた載せるという形になるのかなど。

1 前川委員

是非とも、まなび推進課でお願いします。

1 まなび推進課長

できるだけ連携を密にして、こまめにかえていきたいと思います。

1 前川委員

年度がわりで、校長先生・園長先生かわってるのに、まだ前のままというのがたまにあるんです。よろしくお願いします。

1 名倉委員

済みません、そのことに関して、幼稚園独自のホームページってありますか。

1 西畑委員

あります。

1 名倉委員

全園。

1 まなび推進課長

あります。

1 名倉委員

それは小・中。それシステム違いなんですかね、独自でできないって
いうのは。

1 教育総務課長

小・中は確か南中にそういうサーバーがあるんですけど。

1 名倉委員

なるほど。

1 教育総務課長

幼稚園はそれがないので。で、まなび推進課でデータ持ってきてい
ただいて、そこで更新することになってます。そのネットワークの環
境の違いがあるので。

1 名倉委員

そうですね。その取り組んだときのシステムとかネットワークの違
いだけのことですよね、恐らく。

1 西畑委員

小中学校は、内田洋行さんのCMSというシステムがあって、パス
ワード入れたら、知っていればみんな更新できるっていう仕組みにな
ってるので。幼稚園がないっていうことですよね。

1 名倉委員

わかりました。

1 教育長

どうぞ。

1 西畑委員

ちょっと関連のお話を、小中学校の話が出ましたんで。小中学校はホームページ、現場で更新できるというふうにやっていって、更新をしていただいている学校も多いんですけど、その現場の先生方もね、スキルの違いで中々更新がされていなかったりとか、PTAのページをつくっていただいても、PTAの中でする人がいないとか。そういうふうなことに陥りがちで、新鮮な情報発信を幼稚園のほうも載せていただけてますけども、やっぱり小中学校のほうも、そうやってこういう取り組みやってますよというのを、まめに更新されていくような何か取り組みをしていただきたいなと思います。

1 教育長

ほかに何か。はい。

1 田中委員

先ほど挙がっております、ブロック別というところの幼稚園の部分ですが、このブロックはもう少し具体的に何かありますか。元々私たちは中学校区のブロックやいうことで、それでいいですか。

1 まなび推進課長

そのように僕は認識しているんですけども、何分に申し訳ございません。

1 田中委員

小中の場合のブロック研、かつてのブロックというのは、幼小中を含めてましたね。そこに保育所が入ってたんではないかなと。

1 まなび推進課長

幼稚園だけのブロック研修ですね。

1 田中委員

ブロック研修。その幼稚園だけのブロック研修で研修をすると。なぜこれを、私が聞いたのかって申し上げますと、いわゆる幼児期の終わりまでに育ててほしい姿、幼児期に育ててほしい10の姿がありましたね。これの具体的に挙がっている姿をめざしてほしい。カリキュラムを通して、きちっとできないと思うんですが。それが小学校に結びついていく、そういう意味ではこの小学校にはカリキュラムマネジメントがあるわけですから、こういうのをうまくかみ合わせていく必要があるんじゃないかと。つまり、この推進計画には、そういったスタートカリキュラム、アプローチカリキュラムといわれる内容がなかったもので、少し変更をされて入れたほうがいいのではないかと。保育所も含めたところで教育の推進を図らないと、保育園がとり残されてしまうという場合もある。保育園も同時にそういうプログラムを組むべきではないか。それで小学校に送っていく。小学校とこすり合わせる、そうすると、教育長が先ほどおっしゃったような人と人とのつながりも含めて、構築されていくのではないかと思いますので、ブロックの内容も含めて、ご検討いただければと思います。

1 まなび推進課長

勉強しておきます。

1 田中委員

よろしく願いいたします。

1 教育長

幼稚園と小中学校の教育推進計画のほうは、よろしいでしょうか。

ないようですので、これもちまして、本日の定例教育委員会を閉
会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午後 2時41分